

六 郷

○ひとりだちのできる たくましい生徒の育成
○人権感覚豊かな 思いやりのある生徒の育成

学校便り 1月号
令和3年 1月20日
松阪市立嬉野中学校
校長 山下隆久



希望が未来をつくる



新しい年の活動が始まり2週間たちました。本年も本校の教育活動にご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。ホームページを昨年12月から公開していますのでご覧ください。

HPアドレス <http://www.ureshino-matsusaka.com/ureshino/>

見出しの言葉はNHK朝ドラ「エール」で語られた言葉です。原爆投下により焦土と化した長崎で、頭に重傷を負いながら被爆者の治療をおこなった永井医師の言葉です。がれきから掘り起こされた大きな鐘の音が、どん底を味わい絶望している長崎の人たちに笑顔と勇気を与えた様子から、「どん底まで落ちて、大地を踏みしめ、共に頑張れる仲間がいて、初めて“真の希望”は生まれるのです。その“希望”が未来をつくるのです。」と永井医師は語りました。戦争とコロナは全く違いますが、ドラマの撮影現場で、マスクやフェイスシールドを着用しながら協力し合って、できる限りの努力をしているドラマスタッフを観て、役者の人たちも頑張ろうと思ったそうです。

さて、あと3ヶ月足らずで今の学年も終わりです。この3ヶ月はあっという間に過ぎてしまいます。重要な学年のまとめの時期です。今までを振り返り、悪かったところは改めて、次の学年に持ち越さないようにしてください。3年生はいよいよ進路決定の時です。卒業までもあとわずかになってしまいました。悔いの残らないよう充実した日々を送ってほしいと思います。

「未来は希望を広げていくことで拓ける！勇気を出して、まず一歩！」

嬉野中学校ロビーの展示物

正面昇降口を入るとすぐにロビーがあります。

この学校を設計してくださった東畑建設事務所の人たちは、このスペースで生徒のみなさんが集って語り合いながら、友情やつながる心を育ててほしいという願いで考えられたと聞いています。とても広々と明るい空間です。今年度は、図書館司書の山際さんや鈴木さんにお世話になり、



図書室の本を置いたりしてロビーの使い方を工夫しています。



この冬休みに中川地区の「みんなのマルシェ」で展示されていた美術部の作品が、現在パネル展示されています。保護者・地域の方々も観に来てください。

保護者・地域の方々の作品がありましたら

是非、展示させていただけるとありがたいです。

嬉野中発信「地域を思う心 広がれ！」

1月12日の中日新聞で本校2年生地域学習「嬉野学」の記事を掲載していただきました。地域の方々の「嬉野が好き」という思う心に触れて、嬉野中学校の私たちも、多くのことを学ばせていただきました。そして、わが町、嬉野を思う気持ちが強くなりました。この地域を思う心は、小学生や高校生にも広がっているので紹介します。



「人権の花」豊地小学校のみなさんから

冬休み前に豊地小学校の代表2人から「私たちの花を見てくださる人が笑顔になってほしい」と思って、花のお世話をしました。もっともっと幸せな社会になってほしいです。私たちの気持ちがいっぱいこもったお花を受け取ってください。」という言葉とともに「人権の花」をいただきました。

嬉野中学校を代表して、人権委員会の加藤さんと西口さんが受け取りました。いまは体育館2階通路に飾られており、バレーボール部の人たちがお世話してくれています。ありがとう。



「名松線活性化プロジェクト」

白山高校のみなさんから

権現前駅を通る名松線。広々とした田園の中を疾走し、山と雲出川が徐々に迫る溪谷を抜けるその車窓からの景色を見た人は「名松線には物語がある。」と言ったそうです。

一時は廃線の危機にあった名松線を守ろう、もっと良さを知ってもらおうと、白山高校の人たちは考えて名松線の風景をポスターにしました。ポスターを1枚作るの

に200枚ぐらい写真を撮って、最高のものを選んだそうです。後日、白山高校生徒のみなさんからいただいたパンフレットを配ります。



卒業式をみんなの力で創り上げよう！

嬉野中学校では、来年度3年生になる2年生が思いを込めて卒業式場を準備する伝統があります。1年生も様々な工夫して準備をしてきました。今年度1年生は、花苗を植えて式場を飾り彩ることになりました。

1月22日金曜日に、1年生が花苗を花壇やプランターに植える作業をします。その準備として12月26日に1年生の野球部員と当日お世話になる花壇ボランティアの方々が、花壇の土を耕す作業をしてくださいました。当日、1年生の人たち、よろしくお願ひします。

